

「お金の寺子屋」確認テスト①

＜正誤問題＞

- ① 【 】 税理士資格を持たないFPは、仮定の事例を用いて税金の計算や、税制についての一般的な説明をする事ができる。
- ② 【 】 金融商品取引業の登録を受けていないFPは、無料であれば、顧客と投資顧問契約を締結し、その契約に基づき 投資助言・代理業を行う事ができる。
- ③ 【 】 元利均等返済と元金均等返済を比較した場合、返済期間や金利など、他の条件を同じとすると、元利均等返済の方が、総返済額が多くなる。
- ④ 【 】 日本学生支援機構の奨学金には、返済義務のない第一種奨学金と、返済義務のある第二種奨学金がある。
- ⑤ 【 】 日本学生支援機構の奨学金と国の教育ローンは、重複して利用することができない。
- ⑥ 【 】 貸金業法の総量規制により、貸金業者から借り入れる事ができる金額は、原則として、年収の4分の1までとされている。
- ⑦ 【 】 健康保険の傷病手当金は、病気やケガを原因として連続して3日以上休んだ場合、休業4日目以降、1日当たり標準報酬日額の3分の2相当額が、通算して1年6ヵ月間まで保証される制度である。
- ⑧ 【 】 健康保険の被保険者が同一月内に同一の医療機関等に支払った医療費の一部負担金等の額が自己負担限度額を超える場合、所定の手続により、その支払った一部負担金等の全額が高額療養費として支給される。
- ⑨ 【 】 健康保険の任意継続被保険者となるためには、資格喪失日の前日までに健康保険の被保険者期間が継続して3ヵ月以上なくてはならない。
- ⑩ 【 】 健康保険や国民健康保険の被保険者は、70歳になると、後期高齢者医療制度の被保険者となる。

<計算問題>

①

以下の資料に基づき、可処分所得の額を計算してください。

<資料>

給与収入：700万円（給与所得520万円）
所得税・住民税：60万円
社会保険料：100万円
生命保険料：15万円
住宅ローン返済額（元本部分）：40万円
住宅ローン返済額（金利部分）：60万円

②

以下の資料に基づき、個人バランスシートの純資産の額を計算してください。

<資料>

[保有財産（時価）] (単位：万円)

金融資産	
普通預金	360
定期預金	140
財形年金貯蓄	180
上場株式	100
投資信託	60
生命保険（解約返戻金相当額）	80

[負債残高]

自動車ローン：100万円

③

下記は、東条家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる金額を求めて下さい。なお、計算過程においては端数処理をせず計算し、計算結果については万円未満を四捨五入すること。

＜東条家のキャッシュフロー表＞

（単位：万円）

経過年数		基準年	1年	2年	3年	4年	
西暦（年）		2022	2023	2024	2025	2026	
家族・ 年齢	東条 慎也	本人	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳
		理子	妻	30歳	31歳	32歳	33歳
		玉恵	長女	3歳	4歳	5歳	6歳
		良昭	長男	1歳	2歳	3歳	4歳
ライフイベント		ライフ 変動率			住宅購入	理子 復職	玉恵 小学校入学
収入	給与収入（夫）	1%	540			（ア）	
	給与収入（妻）	—	0	0	0	240	240
	収入合計	—	540	545			
支出	基本生活費	2%	250				
	住居費	—	156	156	120	120	120
	教育費	—	0	0	0	40	50
	保険料	—	38	38	38	38	38
	一時的支出	—			700		
	その他支出	1%	23	23	23	24	24
	支出合計	—		484			
年間収支		—	31	（イ）			298
金融資産残高		1%	1,000			813	（ウ）

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとし、2022年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

④

下記の係数早見表を乗算で使用し、各問について計算してください。なお、税金は一切考慮しない事とします。

<係数早見表（年利 1.0%）>

	終価係数	現価係数	減債基金係数	資本回収係数	年金終価係数	年金現価係数
5年	1.051	0.951	0.196	0.206	5.101	4.853

- a) 5年後に 400 万円を用意する目的で、年利 1.0%で複利運用しながら毎年年末に一定額を積み立てる場合、毎年いくらずつ積み立てればよいでしょうか。
- b) 借入金額 1,000 万円、利率（年率・複利）1.0%、返済期間 5 年、元利均等返済でローンを組む場合、毎年の返済額はいくらになるでしょうか。
- c) 毎年年末に 100 万円を積み立てるものとし、5 年間、年利 1.0%で複利運用しながら積み立てた場合、5 年後の合計額はいくらになるでしょうか。
- d) 年利 1.0%で複利運用しながら、5 年間にわたり、毎年年末に 100 万円を受け取りたいなら、受取開始時にいくらの資金があればよいでしょうか。

「お金の寺子屋」確認テスト① 解答・解説

＜正誤問題＞

- ① 【○】 税理士資格を持たないFPは、顧客の具体的な税額を計算してはいませんが、仮定の事例を用いて税金の計算や、税制についての一般的な説明をすることはできます。
- ② 【×】 金融商品取引業の登録を受けていないFPは、有償・無償を問わず、顧客と投資顧問契約を締結し、その契約に基づき 投資助言・代理業を行うことはできません。
- ③ 【○】 元利均等返済と元金均等返済を比較した場合、返済期間や金利など、他の条件を同じとすると、元利均等返済の方が、総返済額が多くなります。
- ④ 【×】 日本学生支援機構の貸与型奨学金のうち、第一種奨学金は無利息で、第二種奨学金は利息が付きます。
- ⑤ 【×】 日本学生支援機構の奨学金と国の教育ローンは、重複して利用することができます。
- ⑥ 【×】 貸金業法の総量規制により、貸金業者から借り入れる事ができる金額は、原則として、年収の3分の1までとされています。
- ⑦ 【○】 健康保険の傷病手当金は、病気やケガを原因として連続して3日以上休んだ場合、休業4日目以降、1日当たり標準報酬日額の3分の2相当額が、通算して1年6ヵ月間まで保証される制度です。
- ⑧ 【×】 健康保険の被保険者が同一月内に同一の医療機関等に支払った医療費の一部負担金等の額が自己負担限度額を超える場合、所定の手続により、その支払った一部負担金等と自己負担額との差額が、高額療養費として支給されます。
- ⑨ 【×】 健康保険の任意継続被保険者となるための被保険者期間の要件は、資格喪失日の前日までに継続して2ヵ月以上あることとされています。
- ⑩ 【×】 健康保険や国民健康保険の被保険者は、75歳になると、後期高齢者医療制度の被保険者となります。

<計算問題>

①

700万円-60万円-100万円=540万円です。

②

(360+140+180+100+60+80)万円-100万円=820万円です。

③

(ア)

$540 \times (1.01)^3 = 556.36 \dots = 556$ です。

(イ)

$545 - 484 = 61$ です。

(ウ)

$813 \times 1.01 + 298 = 1,119.13 = 1,119$ です。

④

a)

減債基金係数を使います。

$400 \text{万円} \times 0.196 = 784,000$ 円です。

b)

資本回収係数を使います。

$1,000 \text{万円} \times 0.206 = 2,060,000$ 円です。

c)

年金終価係数を使います。

$100 \text{万円} \times 5.101 = 5,101,000$ 円です。

d)

年金現価係数を使います。

$100 \text{万円} \times 4.853 = 4,853,000$ 円です。